

2013年度第3四半期決算について

<損益実績(連結)>

	2013.3/四				2013.2/四 →2013.3/四
	累計	1/四	2/四	3/四	
売上高	40,374	12,868	13,877	13,629	- 248
経常利益	2,822	864	872	1,085	※1 + 213
特別損益	※2 287	156	9	121	+ 112
当期純利益	1,927	633	521	772	+ 251
<一株当たり当期純利益>	< 21.2 >	< 7.0 >	< 5.7 >	< 8.5 >	< + 2.7 >
有利子負債		24,968	24,343	24,068	- 275
D/Eレシオ		1.02	0.96	0.92	-0.04

<諸元>

	2013.3/四				2013.2/四 →2013.3/四
	累計	1/四	2/四	3/四	
連結粗鋼生産量(万t)	3,652	1,213	1,214	1,226	+ 12
単独粗鋼生産量(万t)	3,465	1,150	1,152	1,163	+ 11
鋼材出荷量(万t)	3,135	1,029	1,068	1,038	- 30
鋼材価格(千円/t)	85.2	82.5	86.3	86.7	+ 0.4
為替(円/\$)	99	98	98	100	2円安

(2)全国

粗鋼生産量(万t)	8,393	2,807	2,772	2,814	+ 41
鋼材消費(万t) *1	4,789	1,540	1,608	1,641	+ 33
(うち製鉄業)	3,003	973	1,010	1,020	+ 10
<製鉄業比率>	62.7%	63.2%	62.8%	62.2%	- 0.6%
普通鋼鋼材消費(万t)	3,809	1,220	1,278	1,311	+ 33
建設	1,693	538	567	588	+ 21
製造業	2,117	682	712	723	+ 11
特殊鋼鋼材消費(万t)	980	320	330	330	+ 0
国内メーカー問屋在庫(万t)		561	553	549	- 4
薄板三品在庫(万t)		386	388	382	- 6

*1 当社推定値 *2 11月末確報

※1連結経常利益の対前四半期分析(単位:億円)

2013.2/四
→2013.3/四

連結経常利益 差異 +210

1. 製鉄事業 +150

① 生産出荷 -30万t -50
(2/四:1,068→3/四:1,038万t)

② 販売価格・構成 -50

③ 原料価格(キャリアオーバー含む) +150

④ コスト改善(統合効果含む) +80

⑤ 在庫評価差 -30

⑥ グループ会社 +120

⑦ その他 -70

2. 非鉄事業 +40

3. 調整額 +20

※2 特別損益内訳

(単位:億円)

	2013.3/四				2013.2/四 →2013.3/四
	累計	1/四	2/四	3/四	
特別損益合計(連結)	287	156	9	121	+ 112
投資有価証券売却損益	446	156	155	134	- 21
設備休止関連損失 *1	▲159	-	▲145	▲13	+ 132

*1 主要生産設備の廃止決定等に基づき発生する除却・解体費用
(名古屋製鐵所第3コークス炉、日鉄住金鋼板西日本製造所の酸洗・冷延設備等)

<セグメント情報>

(単位:億円)

	2013.3/四				2013.2/四 →2013.3/四
	累計	1/四	2/四	3/四	
売上高	40,374	12,868	13,877	13,629	- 248
製鉄	35,991	11,427	12,408	12,155	- 253
エンジニアリング	2,038	608	735	695	- 40
化学	1,742	546	603	591	- 12
新素材	284	94	97	92	- 5
システムソリューション	1,217	398	415	403	- 12
調整額	▲ 899	▲ 207	▲ 383	▲ 308	+ 75

	2013.3/四				2013.2/四 →2013.3/四
	累計	1/四	2/四	3/四	
経常利益	2,822	864	872	1,085	+ 213
製鉄	2,557	757	825	975	+ 150
エンジニアリング	76	36	▲0	39	+ 39
化学	100	44	25	30	+ 5
新素材	14	1	5	8	+ 3
システムソリューション	73	19	28	25	- 3
調整額	▲0	5	▲12	6	+ 18

2013年度決算見通しについて

<損益見通し(連結)>

	2013FY 見通し					2012FY 実績 (単純合算)	2013上期 → 2013下見	2012FY (単純合算) → 2013FY見	2013FY見 (10/30公表)
	上期	下見	3/四	4/四見					
売上高	54,500	26,745	27,755	13,629	14,126	50,835	+ 1,010	+ 3,665	54,500
経常利益	3,400	1,736	1,664	1,085	579	877	※1 - 72	※2+ 2,523	3,400
当期純利益	2,200	1,155	1,045	772	273		- 110		2,000
<一株当たり当期純利益>	< 24.2>	< 12.7>	< 11.5>	< 8.5>	< 3.0>		< - 1.3>		< 22.0>

2012FYについては、
旧新日本製鐵と旧住友金属工業の単純合算 (単位: 億円)

<諸元>

連結粗鋼生産量 (万t)	4,830程度	2,427	2,400程度	1,226	1,180程度	4,603	- 27程度	+ 227程度	4,830程度
単独粗鋼生産量 (万t)	4,580程度	2,302	2,280程度	1,163	1,120程度	4,355	- 22程度	+ 225程度	4,580程度
鋼材出荷量 (万t)	4,210程度	2,097	2,110程度	1,038	1,070程度	4,097	+ 13程度	+ 113程度	4,230程度
鋼材価格 (千円/t)	85程度	84.4	86程度	86.7	86程度	80.1	+ 2程度	+ 5程度	85程度
為替 (円/\$)	99程度	98	100程度	100	100程度	82	2円安程度	17円安程度	99程度

(参考)セグメント情報

売上高 (単純合算)	54,500	26,745	27,755	13,629	14,126	43,899 (50,835)	+ 1,010	+ 10,601 (+ 3,665)	54,500
製鉄 (単純合算)	48,500	23,836	24,664	12,155	12,509	37,904 (44,840)	+ 828	+ 10,596 (+ 3,660)	48,500
エンジニアリング	3,000	1,343	1,657	695	962	3,030	+ 314	- 30	2,800
化学	2,300	1,150	1,150	591	559	1,957	-	+ 343	2,300
新素材	360	192	168	92	76	422	- 24	- 62	360
システムソリューション	1,780	814	966	403	563	1,719	+ 152	+ 61	1,780
調整額	▲ 1,440	▲ 590	▲ 850	▲ 308	▲ 542	▲ 1,134	- 260	- 306	▲ 1,240

経常利益 (単純合算)	3,400	1,736	1,664	1,085	579	769 (877)	- 72	+ 2,631 (+ 2,523)	3,400
製鉄 (単純合算)	3,050	1,582	1,468	975	493	415 (509)	- 114	+ 2,635 (+ 2,541)	3,050
エンジニアリング	150	36	114	39	75	181	+ 78	- 31	150
化学	100	70	30	30	-	97	- 40	+ 3	115
新素材	10	6	4	8	▲ 4	9	- 2	+ 1	10
システムソリューション	130	48	82	25	57	116	+ 34	+ 14	130
調整額 (単純合算)	▲ 40	▲ 7	▲ 33	6	▲ 39	▲ 52 (▲ 38)	- 26	+ 12 (- 2)	▲ 55

※1 連結経常利益差異の内訳(単位: 億円)

2013上期
→2013下見

連結経常利益 差異	-70
1. 製鉄事業	-110
① 生産出荷	~
② 販売価格・構成	+100
③ 原料価格(キャリーオーバー含む)	+200
④ コスト改善(統合効果含む)	+320
⑤ 在庫評価差	-160
⑥ グループ会社	+100
⑦ 高炉改修影響(コスト影響)	-100
⑧ 為替影響	-200
⑨ その他(固定費期間差等)	-370
2. 非鉄事業	+70
3. 調整額	-30

※2 連結経常利益差異の内訳(単位: 億円)

2012FY
→2013FY見

前回
→今回

連結経常利益 差異	+2,520	~
1. 製鉄事業	+2,540	~
① 生産出荷 +113万t程度 (2012FY: 4,097→2013FY見: 4,210万t程度)	+490	~
② 販売価格・構成	-700	+100
③ 原料価格(キャリーオーバー含む)	+1,000	~
④ コスト改善(統合効果含む)	+1,300	~
⑤ 在庫評価差	+820	~
⑥ グループ会社	+330	~
⑦ 高炉改修影響(コスト影響)	-30	~
⑧ 為替影響	-270	~
⑨ その他	-400	-100
2. 非鉄事業	-15	-15
3. 調整額	-5	+15

【剰余金の配当方針について】

当期末の剰余金の配当につきましては、平成26年3月期第2四半期決算発表時点において未定としておりましたが、既公表の配当方針に従い、当期の業績見通し等を踏まえ、1株につき3円(年間配当金としては1株につき5円、連結配当性向約21%)とさせていただきます方針と致します。

(注) 上記予想には本資料の発表日現在の将来に関する前提・見通し・計画に基づく予測が含まれております。実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。

《参考》既公表案件について

1. 事業統合及び再編に関する公表案件

・既実行案件

年度	時期	案件
2012年度	2012.10月	(新日鉄興和不動産株の発足) 株新日鉄都市開発と興和不動産株の経営統合
	2012.10月	(日鉄住金パイプライン&エンジニアリング株の発足) 日鉄パイプライン株及び住友金属パイプエンジニア株の経営統合
	2013.1月	(日鉄住金ボルテン株の発足) 日鉄住金精圧品株と株NSボルテンのハイテンションボルト(「HTB」)事業の統合
	2013.1月	(NIPPON STEEL & SUMIKIN Steel Processing (Thailand) Company Limitedの発足) タイにおける棒線二次加工事業会社の統合
2013年度	2013.4月	(日鉄住金物流株の発足) 日鐵物流株と住友金属物流株の統合再編
	2013.4月	(日鉄住金テクノロジー株の発足) 株日鐵テクノリサーチと住友金属テクノロジー株の統合
	2013.4月	(日鉄住金神鋼シャーリング株の発足) 株日鐵神鋼シャーリングと株シーヤリング工場の合併
	2013.9月	(日鉄住金直江津チタン株の設立) チタン素材溶解事業に関する東邦チタニウム株との合併
	2013.10月	(日鉄住金鋼管株の発足) 住友鋼管株と日鉄鋼管株の合併
	2013.10月	(日鉄住金物産株の発足) 住金物産株及び日鐵商事株の経営統合
	2013.10月	(日鉄住金テックスエンジニア株の発足) 太平工業株及び株日鉄エレックスの経営統合
	2014.1月	(新日鐵住金グループにおける電縫管事業の再編について) 海外事業会社の管理一元化

・その他既公表案件等

年度	時期	案件
2014年度	2014.4月 (2013.10月公表)	(当社製鉄所組織の統合・再編成について) 製鉄事業競争力の更なる強化を目的とした当社製鉄所組織の統合・再編成
	2014.4月 (2013.8月公表)	(新日鐵住金グループにおける電縫管事業の再編について) 販売品種の再編・最適化
	2014.10月 (2013.11月公表)	(設備エンジニア・保全系 当社連結子会社8社の経営統合に関する基本合意について) 当社国内設備の総合的な競争力強化、海外事業拠点における設備戦力基盤の確保

2. 主要な海外事業投資の進捗

%:NSSMC出資比率		投資額	主要設備	製造能力	FY13	FY14	FY15
自動車用鋼板等	Alabama plant 50% (アメリカ) (Arcelor Mittal とのJV)	約 15.5億\$ (買収金額総額)	熱延、冷延 CGL等	530万ト/年 -熱延		★ 取得手続き完了	
	TENIGAL 49% (メキシコ)	約 300百万\$	CGL	40万ト/年	★ 13/8		
	JCAPCPL 49% (インド) (TATA とのJV)	約 400億円	CAPL	60万ト/年	★ 14/1		
	NSGT 100% (タイ)	約 300百万\$	CGL	36万ト/年	★ 13/10		
	BNA 50% (中国) (No4 CGL新設)	約 11億元	No4 CGL	42万ト/年	CGL能力 (125万ト/年→167万ト/年)		★ FY15稼働開始
	ICI 80% (アメリカ) (No4 鍛造プレスライン新設)	約 46百万\$	No4 鍛造 プレスライン	約 130万本/年	鍛造プレス能力 (270万本→400万本)		★ FY15稼働開始
建材薄板	NSBS 50% (BlueScopeとのJV) (シンガポール他)	554百万\$ (グループ総額)	CGL等	140万ト/年 -CGL	★ 13/3 JV設立		
	CSVC 30% (ベトナム)	1,150百万\$ (JV合計額)	CDCM	120万ト/年	★ 13/4~		
ブリキ	WINSteel 50% (中国)	約 230億円	ブリキ ライン等	80万ト/年	★ 13/9~		
鋼管	VSB 40% (ブラジル)	5.4bnBRL (VSB資本金)	シームレス パイプ等	60万ト/年 -SML		立ち上げ中	

新日鐵住金株式会社

コード番号 5401 上場取引所 東京、名古屋、札幌、福岡

問合せ先 責任者役職名 広報センター所長

氏 名 高橋 望

TEL (03)6867-2130

<2014年3月期 第3四半期決算 補足情報>

[全国]

1. 粗鋼生産量

単位:万トン

	前期			当四半期		下期	年度
	第1四半期	第2四半期	上期	第3四半期	第4四半期		
2012年度	2,750	2,726	5,476	2,591	2,664	5,255	10,730
2013年度	2,807	2,772	5,580	2,814	(※)2,785程度	5,600程度	11,180程度

(※)経済産業省見通し

2. 在庫推移

	国内メーカー間在庫	(在庫率)	薄板三品：熱延+冷延+表面処理	ときわ会H形鋼
	万トン	%	万トン	万トン
2011.12末	558	(146.7)	432	17.4
2012.1末	560	(146.2)	428	17.5
2012.2末	555	(139.8)	415	18.8
2012.3末	551	(126.0)	411	20.3
2012.4末	552	(149.8)	404	20.3
2012.5末	553	(141.6)	407	19.5
2012.6末	546	(138.7)	396	19.6
2012.7末	541	(135.6)	392	18.9
2012.8末	557	(151.9)	409	18.0
2012.9末	568	(147.0)	416	17.9
2012.10末	554	(139.0)	407	18.4
2012.11末	543	(142.0)	394	18.3
2012.12末	546	(151.9)	392	17.9
2013.1末	549	(146.1)	398	17.7
2013.2末	541	(146.4)	384	18.7
2013.3末	541	(125.6)	385	19.7
2013.4末	542	(142.2)	381	19.2
2013.5末	548	(136.2)	383	19.7
2013.6末	561	(145.8)	386	19.7
2013.7末	536	(127.2)	376	19.0
2013.8末	553	(147.0)	392	18.6
2013.9末	553	(133.5)	388	18.7
2013.10末	561	(135.1)	388	18.0
2013.11末	549	(125.2)	382	18.0

[当社]

3. 出銑量

2012年度 単位:万トン

	第1四半期	第2四半期	上期	第3四半期	第4四半期	下期	年度
新日本製鐵	778	801	1,579				
住友金属工業	302	332	634				
新日鐵住金	(1,080)	(1,133)	(2,213)	1,062	1,114	2,176	4,390

2013年度 単位:万トン

	第1四半期	第2四半期	上期	第3四半期	第4四半期	下期	年度
新日鐵住金	1,130	1,147	2,277	1,141	1,090程度	2,230程度	4,510程度

(※1)新日本製鐵については北海製鐵を含む。住友金属工業については日鉄住金鋼鉄和歌山(旧 住金鋼鉄和歌山)を含む。新日鐵住金については北海製鐵および日鉄住金鋼鉄和歌山を含む。

(※2)新日鐵住金の2012年度上期は、新日本製鐵と住友金属工業の単純合算である。

4. 粗鋼生産量

【連結ベース】 当社+国内連結子会社

2012年度 単位:万トン

	第1四半期	第2四半期	上期	第3四半期	第4四半期	下期	年度
新日本製鐵	829	851	1,681				
住友金属工業	310	343	653				
新日鐵住金	(1,139)	(1,195)	(2,334)	1,101	1,169	2,269	4,603

2013年度 単位:万トン

	第1四半期	第2四半期	上期	第3四半期	第4四半期	下期	年度
新日鐵住金	1,213	1,214	2,427	1,226	1,180程度	2,400程度	4,830程度

(※)新日鐵住金の2012年度上期は、新日本製鐵と住友金属工業の単純合算である。

【参考:単独ベース】

2012年度 単位:万トン

	第1四半期	第2四半期	上期	第3四半期	第4四半期	下期	年度
新日本製鐵	770	795	1,566				
住友金属工業	307	338	644				
新日鐵住金	(1,077)	(1,133)	(2,210)	1,040	1,105	2,145	4,355

2013年度 単位:万トン

	第1四半期	第2四半期	上期	第3四半期	第4四半期	下期	年度
新日鐵住金	1,150	1,152	2,302	1,163	1,120程度	2,280程度	4,580程度

(※1)住友金属工業および新日鐵住金については日鉄住金鋼鉄和歌山(旧 住金鋼鉄和歌山)を含む。

(※2)新日鐵住金の2012年度上期は、新日本製鐵と住友金属工業の単純合算である。

5. 鋼材出荷量

2012年度 単位:万トン

	第1四半期	第2四半期	上期	第3四半期	第4四半期	下期	年度
新日本製鐵	746	750	1,497				
住友金属工業	278	286	564				
新日鐵住金	(1,024)	(1,036)	(2,061)	960	1,077	2,037	4,097

2013年度 単位:万トン

	第1四半期	第2四半期	上期	第3四半期	第4四半期	下期	年度
新日鐵住金	1,029	1,068	2,097	1,038	1,070程度	2,110程度	4,210程度

(※1)住友金属工業および新日鐵住金については日鉄住金鋼鉄和歌山(旧 住金鋼鉄和歌山)を含む。

(※2)新日鐵住金の2012年度上期は、新日本製鐵と住友金属工業の単純合算である。

6. 鋼材平均価格

2012年度

単位:千円/トン

	第1四半期		第2四半期		上期	第3四半期		第4四半期		下期	年度
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期							
新日本製鐵	80.0	75.6	77.8								
住友金属工業	94.7	94.4	94.5								
新日鐵住金	(84.0)	(80.8)	(82.4)	78.1	77.4	77.7	80.1				

2013年度

単位:千円/トン

	第1四半期		第2四半期		上期	第3四半期		第4四半期		下期	年度
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期							
新日鐵住金	82.5	86.3	84.4	86.7	86程度	86程度	85程度				

(※1)住友金属工業および新日鐵住金については日鉄住金鋼鉄和歌山(旧 住金鋼鉄和歌山)を含む。

(※2)新日鐵住金の2012年度上期は、新日本製鐵と住友金属工業の加重平均である。

7. 鋼材輸出比率(金額ベース)

2012年度

単位:%

	第1四半期		第2四半期		上期	第3四半期		第4四半期		下期	年度
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期							
新日本製鐵	42	42	42								
住友金属工業	46	45	46								
新日鐵住金	(43)	(43)	(43)	43	47	45	44				

2013年度

単位:%

	第1四半期		第2四半期		上期	第3四半期		第4四半期		下期	年度
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期							
新日鐵住金	49	47	48	45	45程度	45程度	46程度				

(※1)住友金属工業および新日鐵住金については日鉄住金鋼鉄和歌山(旧 住金鋼鉄和歌山)を含む。

(※2)新日鐵住金の2012年度上期は、新日本製鐵と住友金属工業の加重平均である。

8. 為替レート

単位:円/\$

	第1四半期		第2四半期		上期	第3四半期		第4四半期		下期	年度
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期							
2012年度	81	79	80	80	90	85	82				
2013年度	98	98	98	100	100程度	100程度	99程度				

9. 設備投資(工事ベース)及び減価償却費

【連結ベース】

単位:億円

	設備投資額	減価償却費
2012年度	4,200	3,385
2013年度	2,800程度	3,400程度

(※)2012年度は、上期は新日本製鐵と住友金属工業の単純合算を、下期は新日鐵住金の実績を用いて算定している。

以 上